

No.236

2020年
2月号

さくら

図書館だより

(編集・発行)

宿毛市立坂本図書館

〒788-0001

宿毛市中央二丁目7番14号

☎ 0880-63-2654

FAX 0880-63-0155

図書館休館のお知らせ

坂本図書館では、毎年3月に『特別整理期間』として約1週間のお休みをいただいております。今年3月2日(月)からお休みとなります。利用者の皆さまにはご不便をおかけしますが、ご了承ください。

なお、返却ポストは通常どおりご利用いただけます。

休館の期間 3月2日(月)～9日(月)



雑誌・図書を差し上げます

保存年限を過ぎた雑誌や除籍した図書を差し上げます。3月22日(日)までは冊数制限を設けていますので、その範囲内でお持ち帰りください。

期間 3月10日(火)～

(休館日を除く)

時間 10時～18時30分

(土日は10時～18時)

場所 坂本図書館

冊数 雑誌…1人3冊まで

図書…1人30冊まで

英字新聞…1人1束まで

※3月24日(火)以降は制限なし

児童書も
ありますよ



《図書館からのお願い》

図書利用カードに登録されている住所から引越された際には、図書館窓口で変更の手続きをお願いいたします。住所だけでなく、お名前、電話番号等の登録内容が変わった場合も同様の手続きをお願いいたします。

展示のご案内

★メイン展示

「Happy Valentine's Day」

展示期間 2月28日(木)まで

メイン展示はバレンタインデーにちなんで、

- ・チョコレート
- ・ラッピング&ギフト
- ・女性におすすめの本

という3つのコーナーを設け、手作りチョコの作り方からラッピング、自分磨きの本まで、幅広く揃えてみました。



●メイン展示図書(抜粋)

「夢のゴージャスチョコレートレシピ」 「ステキになりたい」 「雑貨&フードラッピングブック」

★サブ展示

「2月9日は『服の日』」

「2月9日」の『服の日』にちなんで、ファッションや日々の服選び、お洗濯のほか、服に関連する絵本、小説など展示しています。



読んでみませんか？

-新着図書のご案内-

(一般)

時代小説アンソロジー てしごと おんな職人日乗

あさのあつこ ほか 著
徳間書店

「毒を盛られているのでは。」最近体調が悪く、妻を疑っていた蠟燭(ろうそく)問屋の主人・喜平。そんな時、効くと評判の揉み屋・お梅に半信半疑ながらも施術してもらうことに。しかし、その手は不思議と喜平の心まで揉みほぐしていく。(『おもみいたします』あさのあつこ著)

調薬師・そば打ち職人・色酔の麴(こうじ)職人など、江戸の世で仕事に生きる女性を描いた短編小説集。

女性作家が描く味わい深い情景が楽しめる一冊です。

(山口)

(一般)

こけし図鑑

佐々木一澄 文と絵
誠文堂新光社

江戸末期、こけしは誕生しました。昭和初期の第一次こけしブームから始まり、昭和30年代の第二次こけしブーム時には、工人の魅力が語られ、多くの名著が出版されました。今ではこけしについて語られることがほとんどなくなってしまいました。

この本では、文化やデザインがわかりやすく紹介されています。

日本に伝わる美をたどる一冊です。

(岡村)

(児童)

地図で見る 日本の地震

山川徹 文
偕成社

私たちの暮らす地域で、過去どれくらいの規模の地震が起こったのでしょうか？地震のメカニズムや過去の事例、エピソードを交えて年表形式で振り返る。歴史に残る最古の地震から現代に至るまで、地域ごとにわかりやすく紹介。南海トラフ大地震が予測されている今、過去に起きた地震を知ることによって未来の「減災」スタートしていきませんか。

(檜田)

(児童)

「おいかけっこのひみつ」

いとうひろし 著
ポプラ社

足の速いライオンとシマウマ、おいかけっこをしたら、とんでもないことがおきてしまっ…。

南の国の草原で、しましまとたてがみがあっちにいたり、こっちにきたり。

最後はどうなってしまうのか？

シマウマとライオンのとてもユーモラスなおいかけっこ、ページをめくるたびワクワクが止まらない一冊です。

草原での不思議を体験してみませんか？

(尾崎)

午前2時のロバート・フランク

松澤まり子

ロバート・フランクの写真が好きだ。数年前、宿毛のバーで置いてあった洋書の写真集で知った。店内で流れるジャズも好きで大理石のカウンターに肘ついて辛口のジンジャールを飲んだりして暑い季節にはぴったりなのだった。

日本はアメリカナイズしているとイギリスに行って知った。確かにわたしはガソリンスタンドで育ったのでよくわかる。日本はアメリカに近いし、それにブタベストはあまりに遠い。

アメリカに戦争で負けて宿毛出身の吉田茂はサンフランシスコ講和条約に調印し、関係ないけれど時には推理小説を読むのが好きだったとか。昔読んだ雑誌で知った。それにチャーチル首相と友達だったって。葉巻をお互いに交換してたかも？面白い事が好きだったのかもね？

ロバート・フランクの写真に昔1960年代のガソリンスタンドの写真がある。SAVE(救う)と書かれた看板だ。田舎町のどこかのガソリンスタンド。周りは何もないような場所。時代がわかるなあと思い、いつもその写真を見ると見入ってしまう。

二年程前の七夕の頃、土佐くろしお鉄道の車内で「ガソリンスタンドの定員になりたい」というお願いごとを書いた短冊を見た。ああ、その子を養子にしたいな、なんて思った。わたしには子どもがいないから。でも子どもがガソリンスタンドなんてしたくないって言ったら？止めはしないだろう。自由にどこにでも行って自分のしたいことをしなさいと言うだろう。わたしの両親のように。

電気自動車、自動運転車、水素車、空飛ぶ車。東京2020オリンピックの年だ。2020年以降はそんな年になるかもしれない。わたしはオリンピックの一年後に生まれたので初めてのオリンピックになる。ギリシャの聖火に灯すヘレニズム文化の白いドレス、天使の着ているような衣装を纏って火をつけてみたいよね。まあ無理だ

けど。

話を元に戻そう。わたしの好きなロバート・フランクの白黒の写真に。

深夜2時。丸いワーゲンのような車に女性と子供二人がいる。夫は仕事にどこか近くにいるらしい。女性は美しく支えてくれている夫を愛しているに違いない笑顔だ。または夫を支えている女性の表情。普通の人々の。思いは巡る。夫は何の仕事をしているのだろうか？ロバート・フランクは深夜2時に車を飛ばしてその写真を撮ったのか？まあ彼はそういった写真家だったらしいんだけど。イグアナなんかもある写真だったからメキシコ辺りだったのかもしれない。妻は二人の子どもと魅力的な笑顔を見せて車の中にいた。

そういえばその写真集の最後を飾っているのはケルアックの解説だった。

ロバート・フランクは昨年、2019年に亡くなった。ありがたいの意を伝えた。わたしは救われてきた。あなたの写真で。うつろな目をしたエレベーターガールの写真や労働者と富裕層を比べたような写真や一筋の道を映した写真。東山魁夷の絵のように緑の中の白い道。そして自分を生きるということ。



2月の夕暮れ

～新着図書のご紹介～

一般図書



- | | | |
|---|-----------------------|------------|
| 0 | 「LIFE3.0」 | マックス・テグマーク |
| 1 | 「デイリーすごろくノート術」 | 原麻衣子 |
| 2 | 「人物でわかる日本書紀」 | 古川順弘 |
| 3 | 「親も子も幸せになれるはじめての中学受験」 | 小川大介 |
| 4 | 「ハウ・トゥー」 | ランドール・マンロー |
| 5 | 「58歳から日々を大切に小さく暮らす」 | ショコラ |
| 6 | 「DAILY GIFT BOOK」 | オモムロニ。 |
| 7 | 「僕の人生には事件が起きない」 | 岩井勇氣 |
| 9 | 「騒がしい楽園」 | 中山七里 |
| 9 | 「梅と水仙」 | 植松三十里 |
| 9 | 「御社のチャラ男」 | 絲山秋子 |
| 9 | 「背高泡立草」 | 古川真人 |
| 9 | 「今日もお疲れさま」 | 群ようこ |
| 9 | 「インタビューズ」 | 堂場瞬一 |
| 9 | 「さいはての家」 | 彩瀬まる |
| 9 | 「君がいないと小説は書けない」 | 白石一文 |
| 9 | 「稚児桜」 | 澤田瞳子 |
| 9 | 「イマジン?」 | 有川ひろ |
| 9 | 「雲を紡ぐ」 | 伊吹有喜 |
| 9 | 「涼子点景1964」 | 森谷明子 |
| 9 | 「平蔵の母」 | 逢坂剛 |
| 9 | 「太平洋食堂」 | 柳広司 |
| 9 | 「山岳捜査」 | 笹本稜平 |
| 9 | 「占」 | 木内昇 |
| 9 | 「熱源」 | 川越宗一 |

※左側の数字は図書の分類を表しています。
 0...総記、1...哲学、2...歴史、3...社会科学、4...自然科学
 5...技術、6...産業、7...芸術、8...言語、9...文学

児童図書



- | | |
|---|----------------|
| 「地図で見る日本の地震」 | 山川徹 |
| 「知ってた?世界のスポーツルールと歴史」 | アダム・スキナー |
| 「北の海の冒険者」 | メアリー・ポープ・オズボーン |
| 「お蚕さんから糸と綿と」 | 大西暢夫 |
| 「ハロー、ここにいるよ」 | エリン・エントラダ・ケリー |
| 「NHKゴー!ゴー!キッチン戦隊クックルン かんたん
かわいいチョコレート&おかし」 | 佐々森典恵 |
| 「『走る図書館が生まれた日』」 | シャーリー・グレン |
| 「宅配ロッカー・宅配ボックスのひみつ」 | トミイ大塚 |

絵本



- | | |
|-------------------------|-----------|
| 「ごめんなさい!」 | いもとようこ |
| 「やきいもとおにぎり」 | みやにしたつや |
| 「いろいろなんなからだのほん」 | メアリ・ホフマン |
| 「おいかけっこのひみつ -しましまとたてがみ- | いとうひろし |
| 「ちらしずし」 | はまのゆか |
| 「なんだろうなんだろう」 | ヨシタケシンスケ |
| 「ぶーちゃんとおにいちゃん」 | 島田ゆか |
| 「ミッフィーこどもずかん」 | ディック・ブルーナ |

★このほかにもたくさんの図書が入っております。
 図書館ホームページでは、月ごとの新着図書一覧を公開しておりますので、
 そちらもぜひご覧ください。

2月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

3月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

開館日時 火～金 10:00～18:30 土・日 10:00～18:00 ■ は休館日
 ホームページ <http://www.city.sukumo.kochi.jp/sbc/library/index.html>
 メールアドレス tosyo@city.sukumo.lg.jp